

ワイドホツパ

WHK

取扱説明書



株式会社 **サタケ**

安全標示について

ご使用のまえに、この欄を必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。

誤った取り扱いをした場合に生じる危険とその程度を、標示で区分して説明しています。
安全標示の種類と意味は以下の通りです。

安全標示が持つ意味を理解し、本書の内容（指示）に従ってください。

安全標示	意 味
 危 険	この標示に従わなかった場合、人が死亡または重傷を負う差し迫った危険がある内容を示しています。
 警 告	この標示に従わなかった場合、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
 注 意	この標示に従わなかった場合、人がけがを負う可能性がある内容を示しています。

その他の標示	意 味
<u>取扱注意</u>	この標示に従わなかった場合、製品の損傷や故障、または原料の損傷が生じる可能性がある内容を示しています。
<u>補 足</u>	使用上役立つ補足説明を示します。

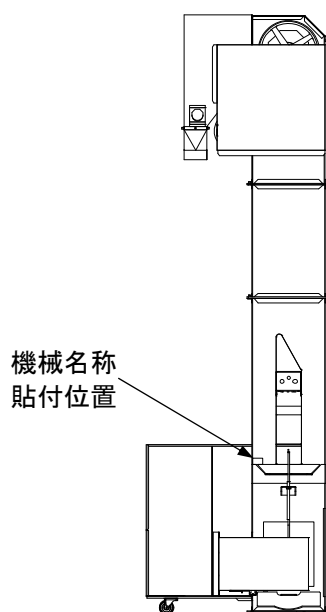
重要なお知らせ



- この取扱説明書を読み、理解するまでは、操作および保守・点検を行わないでください。
 - この機械の操作および保守・点検を行うときは、必ずこの取扱説明書に従ってください。
- いつでも調べられるように、この取扱説明書を機械の近くに大切に保管してください。

- 疑問点または不明な箇所があれば、お買い上げの販売店・JAまたは、巻末の「**緊急時の連絡先**」に問い合わせて回答を得るまで、作業を進めないでください。
- この取扱説明書に従わなかったために、あるいは誤用や無断改造がなされたために、けがを負ったり損害が発生したとしても、株式会社サタケおよび販売店・JAは一切その責任を負いません。

1. この機械は、米麦用です。他の用途には使用しないでください。
2. 近年、産業機械には、新しい材料や加工方法の採用により、さまざまな危険が数多く発生する傾向にあります。
この機械の取扱上の危険についても、すべての状況を予測することはできません。
そのため、この取扱説明書の記載および機械本体に標示している事項は、すべての危険を想定しているわけではありません。
したがって、機械の操作または日常点検を行う場合は、この取扱説明書の記載および機械本体に標示している事項に限らず、安全対策に関しては十分な配慮が必要です。
3. この取扱説明書について、質問やより詳しい情報が必要な場合は、お買い上げの販売店・JAまたは、巻末の「緊急時の連絡先」にお問い合わせください。
4. この取扱説明書において、万一、ページの「乱丁」や「落丁」などがあった場合は、お取り替えいたします。お手数ですが、お買い上げの販売店またはJAまでご連絡ください。
なお、その際は機械名称も合わせてご連絡ください。



保証の限定

本製品は厳密な品質管理と検査を経てお届けしたものです。万一、正常なご使用状態において故障した場合には、お買い上げ日より１年間無料で修理いたします。

＜保証事項＞

1. 取扱説明書、本体標示ラベルに従った使用により機械が保証期間内に故障した場合には、保証書をご持参ご提示の上お買い上げの販売店またはＪＡに修理をご依頼ください。
ただし、保証書のご提示なき場合、消耗部品およびその交換費用は保証期間内でも有償となります。
2. 保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
3. 無料修理期間中でも、次の場合は有料修理になります。
 - (1) 誤った使用方法、あるいは取扱上の不注意によって生じた損傷および故障。
 - (2) 不当な修理や改造によって生じた損傷および故障。
 - (3) 火災、公害、塩害、異常電圧などの外部要因、地震、雷、風水害などの天変地異によって生じた損傷および故障。
 - (4) 一度据え付けた後の移動、落下により生じた損傷および故障。
 - (5) 弊社純正部品以外の使用、お買い上げの販売店・ＪＡまたはその指定サービス工場以外での修理による故障。
 - (6) 保証書の紛失、保証書の記入事項または字句を勝手に訂正された場合。
 - (7) 木切れや石などの異物が機械内に入って生じた損傷および故障。

＜免責事項＞

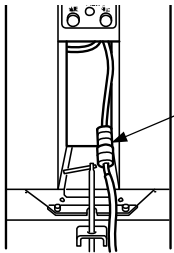
1. 上記（１）から（７）の場合、保証期間内外を問わず、これにより生じる直接および間接損害、その他一切の損害については、何ら責任はないものといたします。
2. お客様が本製品を別のお客様にお譲りになる場合は、必ず、お買い求めいただいた販売店またはＪＡ、もしくは新しく製品をお求めになる販売店またはＪＡにご相談ください。
お客様が別のお客様に直接お譲りになりますと、製品の状態（修理履歴、移設作業の状態）、付属品（取扱説明書等）の有無を把握できないため、製品の安全性や性能について保証できなくなります。

もくじ

	ページ
安全標示について	i
重要なお知らせ	ii
保証の限定	iv
ご使用のまえに	
安全上の注意事項	1
標示ラベルの貼付位置	2
各部のなまえ	3
表示部・操作部のなまえとはたらき	4
運転のしかた	
運転前の準備と確認	5
運転	7
お手入れと保管	
各部の掃除	8
保管	9
困ったとき	
困ったときの対処のしかた	10
その他	
規制板・シャッタの位置変更要領	12
操作盤の配線図	13
消耗部品	14
仕様	15
機体寸法	16
機械の組立	
機械の組立要領	17
1. サイドプレートの組替え	18
2. 昇降機の組立	19
3. 下部Vベルトと安全カバーの取付	21
4. プラスホース、シュートパイプの取付	21
5. サーマルリレーの電流値調整方法	22
6. 操作盤の組替え	23
7. 電源コネクタの結線	23
8. 回転方向の確認	24
9. 組立後のチェック	24
10. 駆動関係図	24
保証とアフターサービス	25
緊急時の連絡先	巻末

安全上の注意事項

⚠ 警告

子供を近づけない	子供を作業通路の近くで遊ばせないでください。また、作業に関係ない人を作業通路内に入れないでください。
使用する人の制限	過労・病気にかかっている等で健康状態の悪い人、また酒気帯び、妊娠している人、若年者は作業および運転操作をしないでください。
作業に適した服装を着用する	長い頭髮は束ね、作業に適した袖口のしまった服（例えばつなぎ）および底のすべらない靴で作業をしてください。 作業時は、ヘルメット、安全靴、必要に応じて防塵メガネ、手袋、マスクを着用してください。
周囲を確かめてから運転開始	運転は、周囲の安全を確かめてから開始してください。 2人以上で作業するときは、互いに合図を交わし作業してください。
カバー類を取り付けて運転 	カバー類はすべて取り付けて運転してください。カバーを取り付けないと、駆動部でけがをするおそれがあります。
ホッパの奥へ手を入れない 	運転中はホッパの奥へ手を入れないでください。スクリュでけがをするおそれがあります。 安全ガードを外しての運転は絶対にしないでください。
掃除・点検時は電源コネクタを抜く  電源コネクタ	各部の掃除・点検をする場合は、電源コネクタを抜いて行ってください。 電源コネクタを抜かないと、点検中、感電するおそれがあります。

⚠ 注意

機械周辺の作業通路を確保	機械周辺の作業通路を確保してください。 狭いと部品交換や掃除ができなくなります。
--------------	---

標示ラベルの貼付位置

標示ラベルは、図示の位置に貼り付けてあります。これらの標示ラベルの内容は、i ページの「安全標示について」で説明しています。必ずその指示に従ってください。

標示ラベルが汚れて見えなくなった場合は、布、水、洗剤できれいにしてください。

標示ラベルが損傷した場合は、購入先から取り寄せ、所定位置に貼り付けてください。

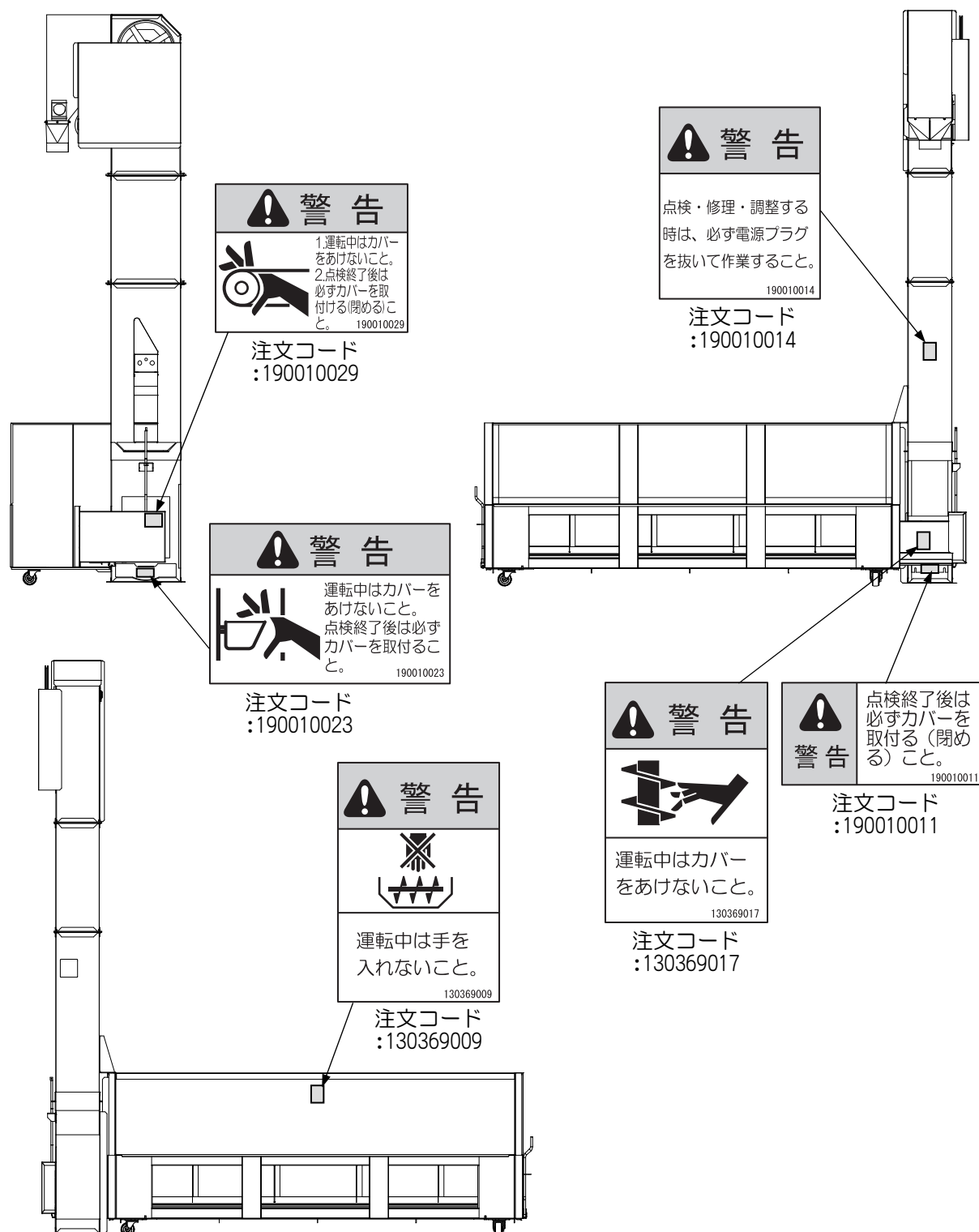


図 1 標示ラベル貼付位置

各部のなまえ

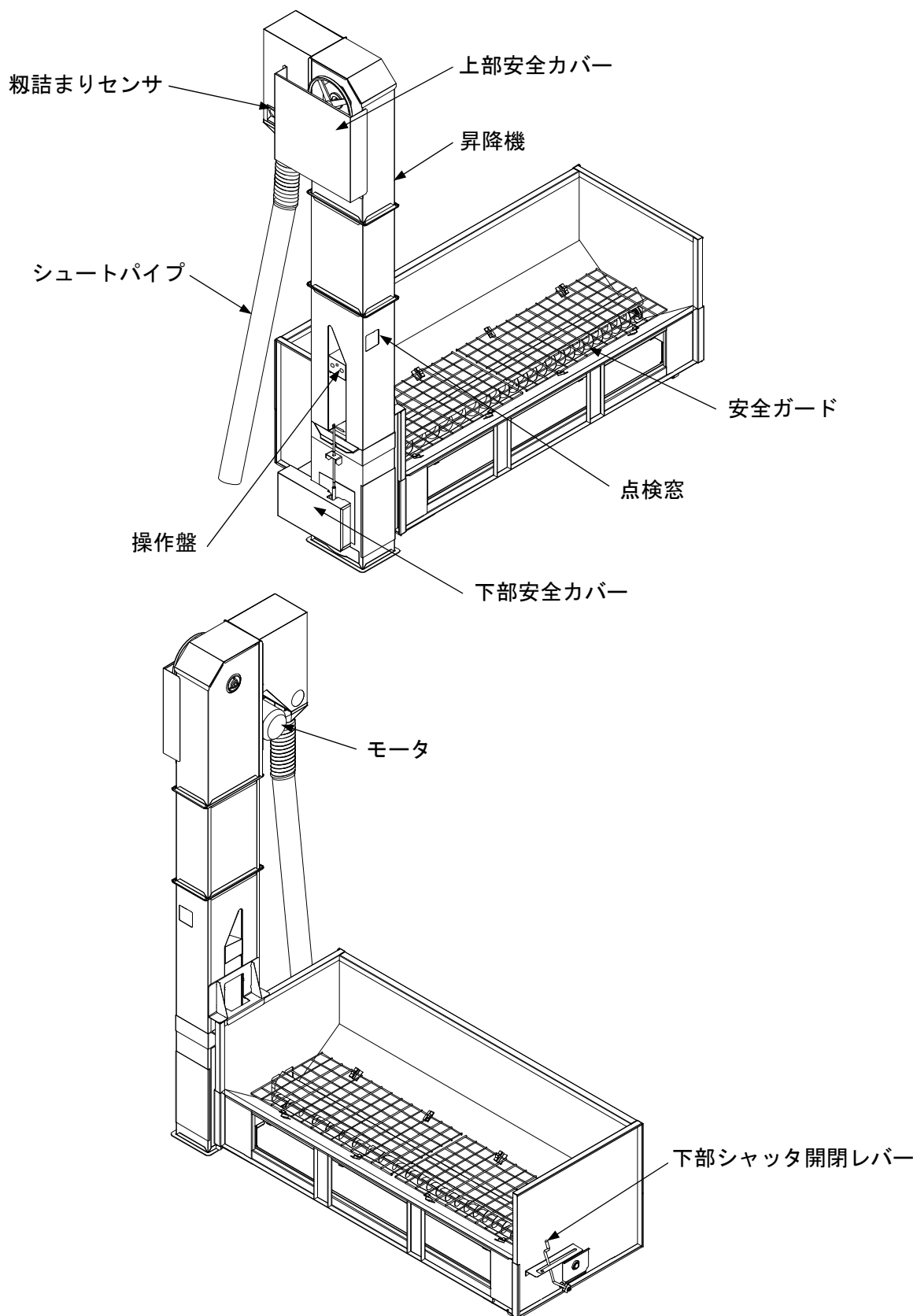
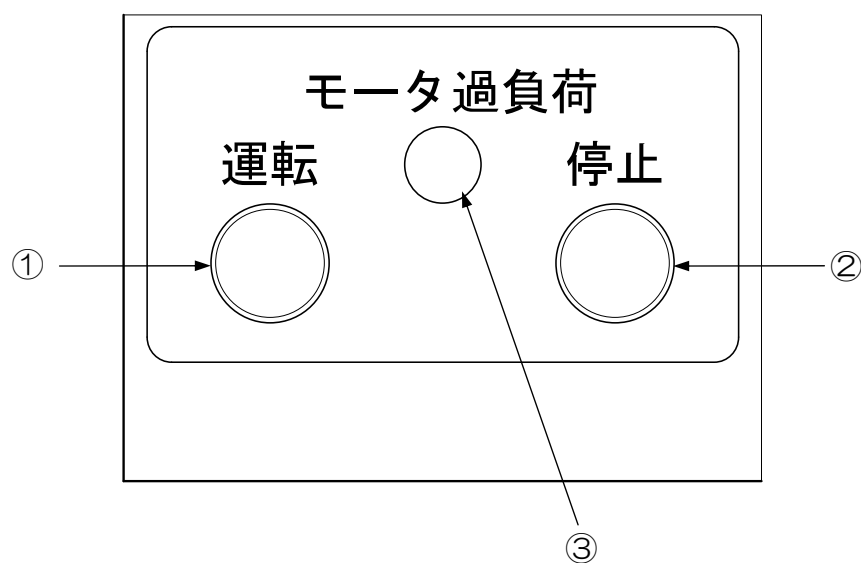


図 2 機械全体図

表示部・操作部のなまえとはたらき



番号	名 称	機 能
①	運転スイッチ	押すと下部スクリュと昇降機が作動します。
②	停止スイッチ	押すと下部スクリュと昇降機が停止します。
③	モータ過負荷ランプ	モータが過負荷のときランプ（橙色）が点灯します。

運転前の準備と確認

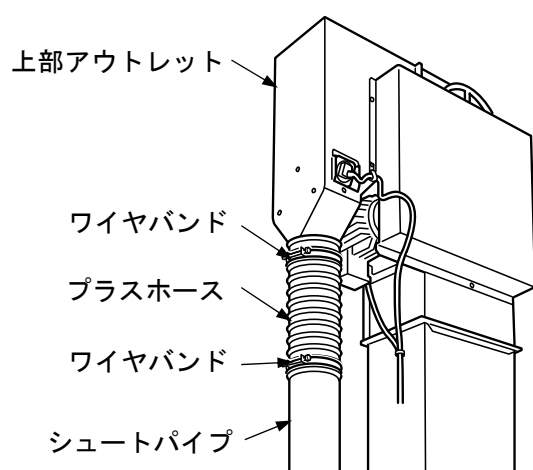
1. 機械周辺の確認

- 1) 電源コードや配線に損傷のないことを確認します。

取扱注意

- 損傷により修理が必要な場合は、お買い上げの販売店またはJ Aに依頼してください。

2. プラスホースおよびシュートパイプの確認

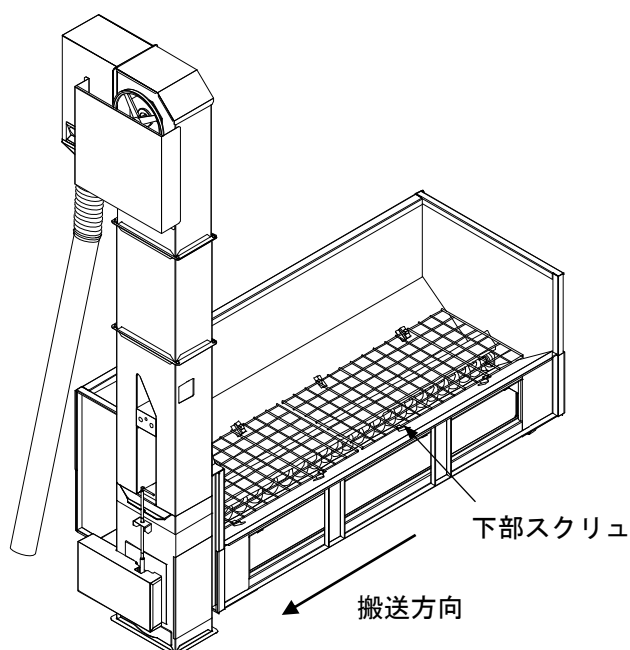


- 1) 上部アウトレットとプラスホース、シュートパイプを固定しているワイヤバンドが確実に締め込んであるか確認します。

取扱注意

- 損傷により修理が必要な場合は、お買い上げの販売店またはJ Aに依頼してください。

3. 回転方向の確認



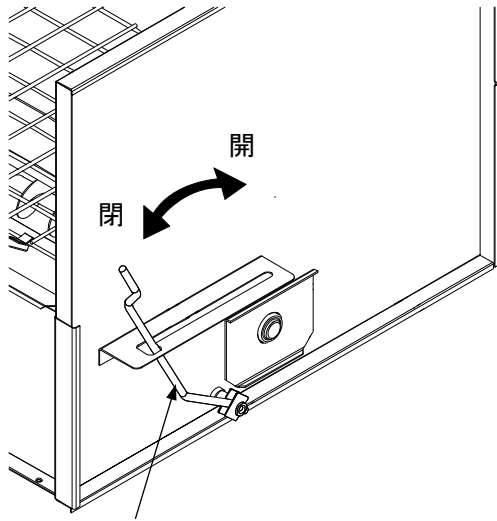
- 1) 電源コネクタを差し込みます。
- 2) [運転スイッチ] を押します。
- 3) 下部スクリューの回転が昇降機側に搬送する方向になっていることを確認します。

取扱注意

- 回転が逆になっている場合は、お買い上げの販売店またはJ Aに依頼してください。

- 4) [停止スイッチ] を押します。
- 5) 電源コネクタを抜きます。

4. 下部シャッター開閉レバーの確認



下部シャッター開閉レバー

- 1) 下部シャッター開閉レバーが確実に閉じていることを確認します。

5. カバーの確認

- 1) 各部のカバーが確実に取り付けられていることを確認します。



注 意

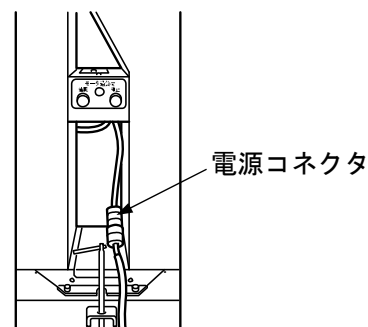
- 上部安全カバー等、高所での確認が必要な場合は、お買い上げの販売店またはJ Aに依頼してください。

運転

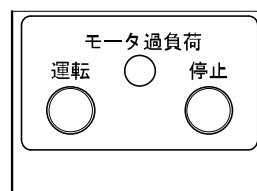
取扱注意

- 仕上麦・低水分麦で使用する場合は、12ページの方法により規制板、シャッタの位置を変更してください。
(位置の変更は購入先に依頼してください)

1. 機械を張込先に移動する
2. 張込先の準備ができていることを確認する
3. 電源コネクタを差し込む
(電源は三相 200V です)



4. [運転スイッチ] を押し、機械を運転する



5. ホッパに穀物を張り込む
6. 運転を終了する場合は、[停止スイッチ] を押す
7. 電源コネクタを抜く

警告

- 機械を移動するときは、ゆっくりと動かしてください。
急に動かすと昇降機が倒れるおそれがあります。
- 粳詰まりセンサが作動すると、下部スクリュと昇降機が停止します。その後、穀物が流れて粳詰まりセンサが復帰すると、下部スクリュと昇降機が自動的に再運転します。スクリュが停止していても絶対に手などを入れないでください。

取扱注意

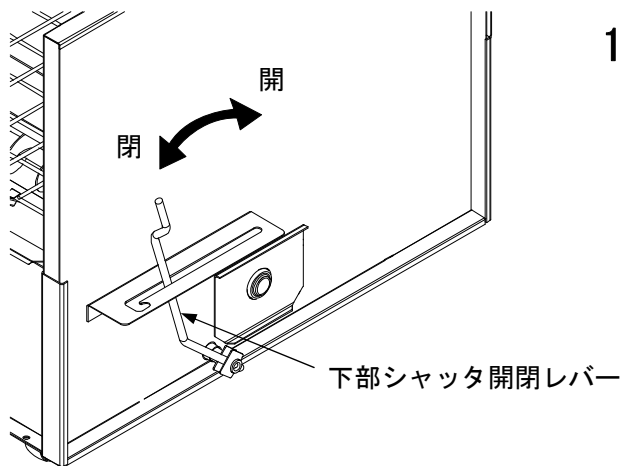
- 粳、麦以外の穀物は張り込まないでください。

各部の掃除



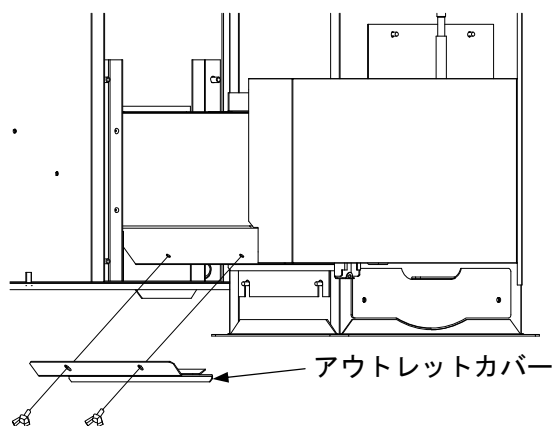
- 作業を行う前に、電源コネクタを抜いてください。
- 作業終了時は、すべてのカバーを元の位置に取り付けてください。

稼働後は、次の手順で機体に残留している穀物を取り出してください。



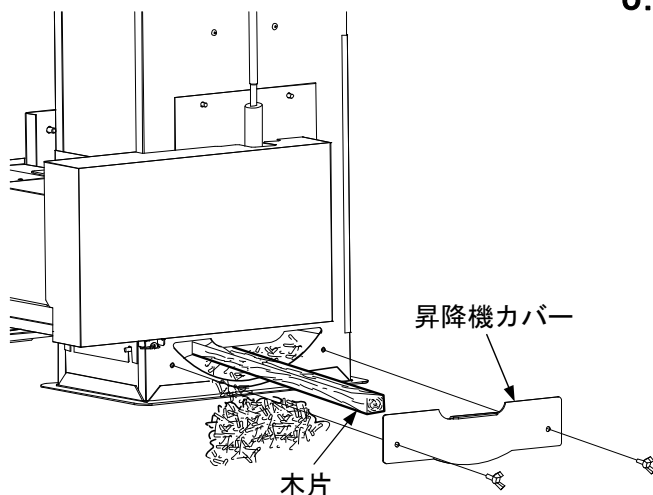
1. 下部スクリュを掃除する

- 1) 下部シャッター開閉レバーを 2～3 回開閉させ、機械の下に落ちた穀物をホウキで取り除きます。



2. アウトレットを掃除する

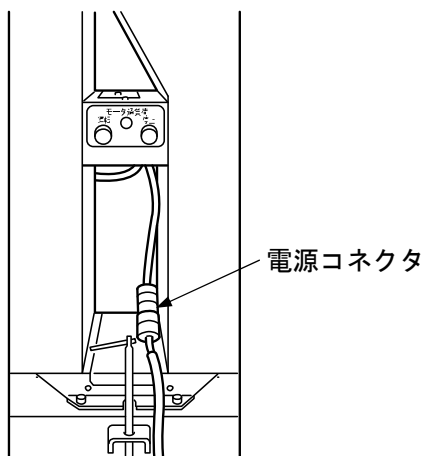
- 1) 機械前面下部にあるアウトレットカバーの蝶ボルトを外します。
- 2) アウトレット部の残留穀物を取り除きます。



3. 昇降機下部を掃除する

- 1) 昇降機カバーを取り外し、残留している穀物を木片などで取り除きます。

保管



- 1) 操作盤に湿気や雨水が入らないように保管します。
- 2) 電源コネクタを抜きます。

取扱注意

- 電源コネクタを差し込んだままにしておくと、雷により制御部が損傷することがあります。

困ったときの対処のしかた



警 告

● 異常・故障の処置を行う前には、電源コネクタを抜いてください。

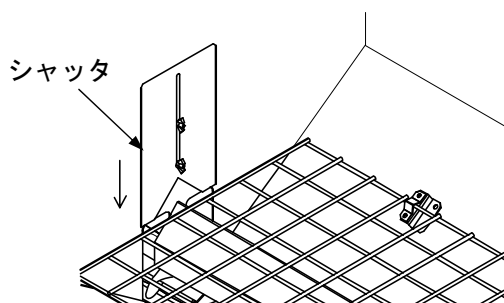
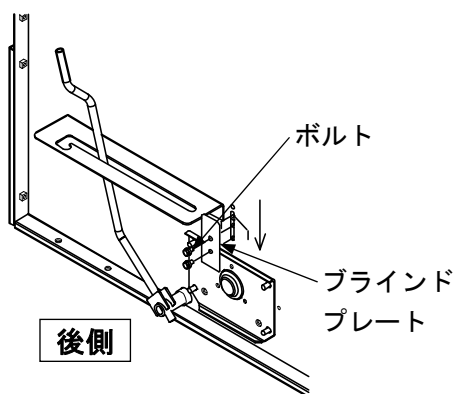
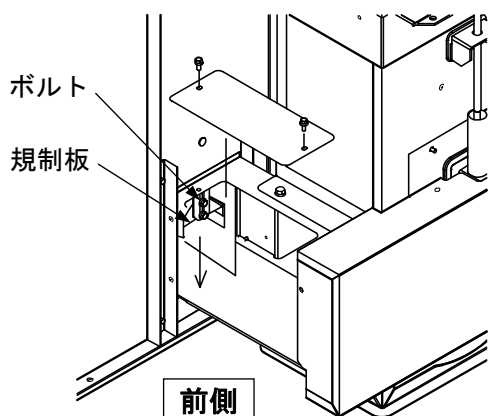
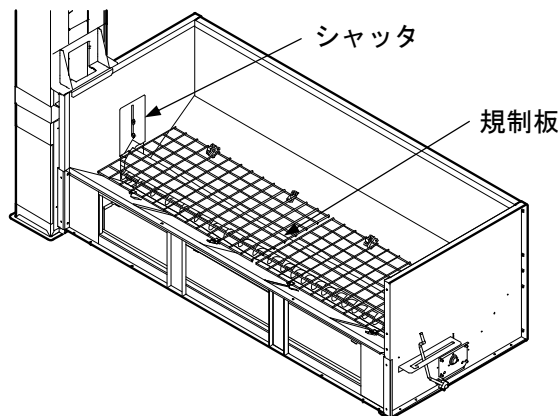
症 状	原 因	対処方法
モータが回らない	元電源のヒューズが切れていませんか？	元電源のヒューズを確認してください。
	元電源から操作盤まで正しく配線されていますか？	配線コードの色とコンセント金具が下図のようになっているか確認します。 (購入先に依頼してください)
	糞詰まりセンサのコネクタが、中継コードのコネクタに確実に差し込んでありますか？	糞詰まりセンサのコネクタを中継コードに確実に差し込んでください。
	中継コードのコネクタが操作盤に確実に差し込んでありますか？	中継コードのコネクタを操作盤に確実に差し込んでください。
	糞詰まりセンサが作動していませんか？	糞詰まりセンサが作動している原因を取り除きます。 (購入先に依頼してください)

困ったとき

症 状	原 因	対処方法
昇 降 機 が 回 ら ない	昇降機、下部スクリュが詰まっていますか？	昇降機、下部スクリュの詰まりを取り除きます。 (8ページ参照)
	モータ過負荷ランプが点灯していませんか？	昇降機、下部スクリュの詰まりを取り除きます。 (8ページ参照)
	サーマルリレーの設定値が正しいですか？	サーマルリレーの設定値を正しい値にしてください。 設定電流値 50Hz地域・・・6.9A 60Hz地域・・・5.8A (購入先に依頼してください)
	昇降機のバケットベルトが緩んだり、片寄ったりしていませんか？	昇降機のバケットベルトを張ってください。 (購入先に依頼してください)
	昇降機のベルトが緩んでいませんか？	ベルトの中心を指で強く押さえたとき、 13～17mmたわむ程度に張ってください。 (購入先に依頼してください)
	モータプーリの取り付けを間違えていませんか？	モータプーリを正しく取り付けてください。 (購入先に依頼してください) 50Hz 地区 大径が 外側に 60Hz 地区 小径が 外側に
穀物の飲み込みが悪い	ワラゴミなどの夾雑物が多くありませんか？ 原料が高水分ではありませんか？	シャッタを上方向に開いてください。 シャッタ

規制板・シャッタの位置変更要領

仕上麦・低水分麦で使用する場合、下記の要領で規制板、シャッタの位置を変更してください。
(位置の変更は購入先に依頼してください)



1) 規制板を固定しているボルト（前後各2本）の下側を取り外します。

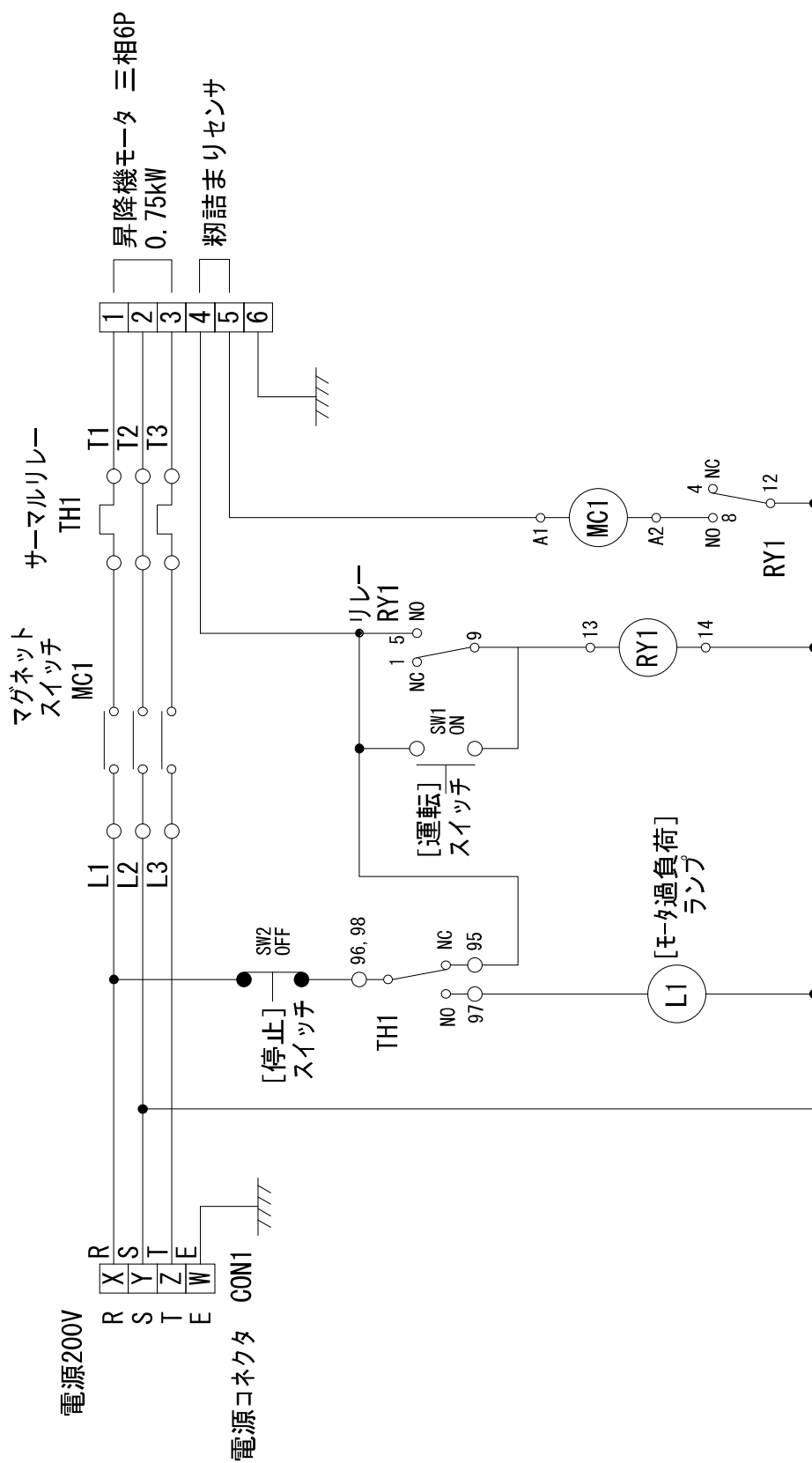
2) 上側のボルトを緩め規制板を一番下に下ろします。（前後ともボルト1本の固定となりますので、緩みがないよう確実に締めてください）

- 後側は一度、2本とも取り外し、ブラインドプレートの下側の穴と規制板の上側の穴にボルトを入れ、一番下に下ろして固定してください。
- ブラインドプレートの上側の穴を付属のボルト・ナットで穴をふさいでください。

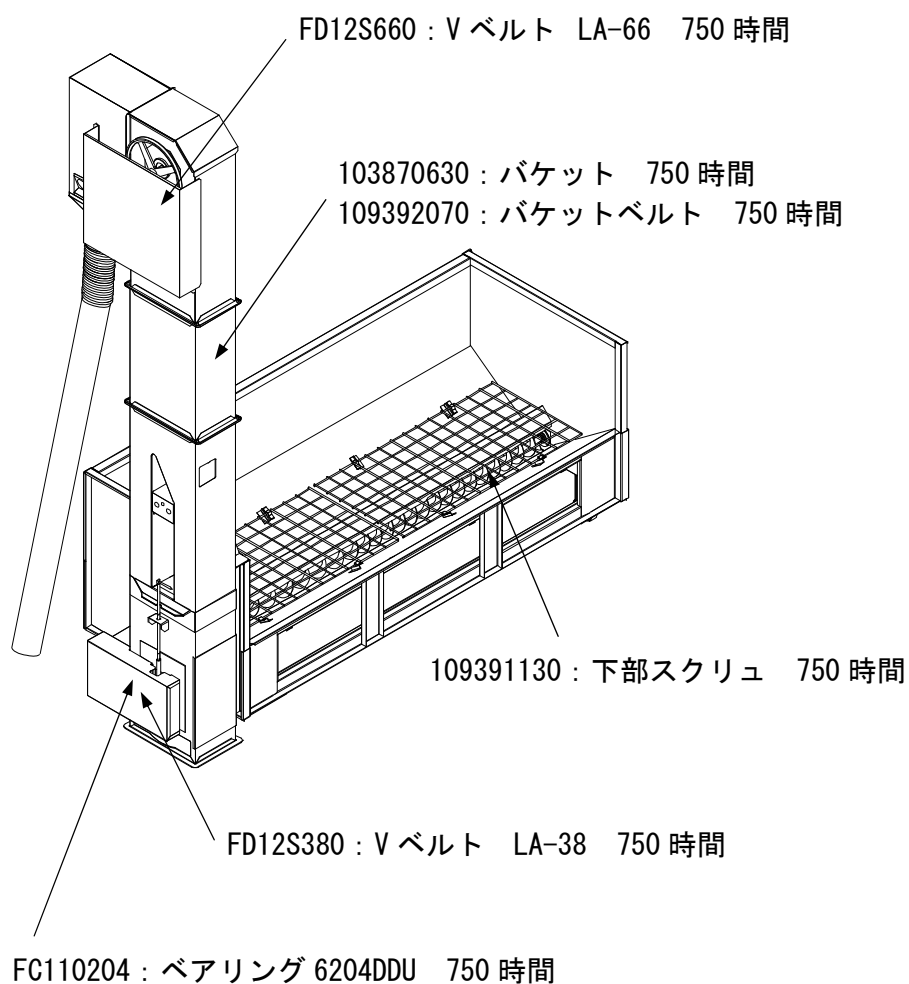
3) 規制板を一番下で固定したら、シャッタを規制板に当たる位置まで下げてください。

そ
の
他

操作盤の配線図



消耗部品



※消耗時間は目安です。穀物の性状により異なります。

そ
の
他

仕様

表 1 仕様一覧表

機種		ワイドホッパ	
項目			
型 式		WH	
区 分		K	
ホッパ部 収容量 (kg)	粳 (560kg/m³)	390	620 (オプション側板取付)
	小麦 (680kg/m³)	470	750 (オプション側板取付)
機 体 寸 法	全 長 (mm)	2700	
	全 幅 (mm)	970	
	全 高 (mm)	3165	4265 (オプション昇降機延長部品取付)
機体質量 [重量] (kg)		260	
所 要 動 力	定格電圧 (V)	三相 200	
	定格出力 (kW)	0.75	
性 能	張込能力	粳 (t/h) 注1	10 ～ 12
		小麦 (t/h) 注1	10 ～ 12
諸 装 置	安全装置		①粳詰まりセンサ ②過負荷保護装置
	標準装備品		①シュートパイプ
	オプション部品		①サイドプレート ②昇降機延長部品 注2

注1. 張込能力は、原料条件（水分、夾雑物、品質等）によって変化します。

注2. 昇降機延長は、1本までです。

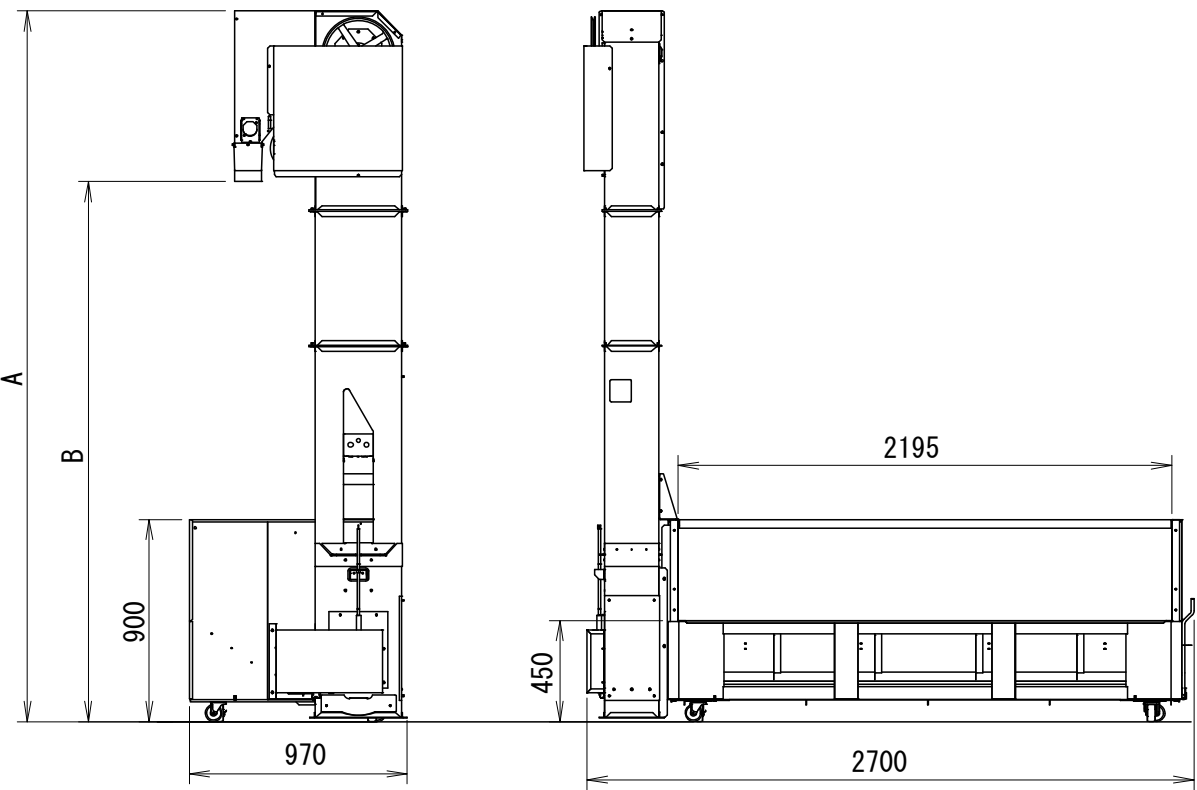
2本以上接続して使用することはできません。

昇降機延長をした場合、機械を移動せず、昇降機下に合板を入れて使用してください。

注3. 本製品の仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

機体寸法

単位：mm



図は標準品（オプション部品なし）です。

単位：mm

型式	WH	WH 昇降機延長部品取付 （オプション部品）
A	3165	4265
B	2400	3500

そ
の
他

機械の組立要領

作業者の方へ

危 険

1. 安全に作業ができる人数および、広さを確保してください。
2. ヘルメット、安全靴、手袋（すべり止め付き）を必ず着用してください。
必要に応じて、マスク、防塵メガネを着用してください。
3. 作業者以外の人が立ち入ることのないように、注意を払ってください。
4. 脚立を使用する場合は、必ず足場を十分に確認してください。
5. 複数での作業は、互いに声をかけ合い、合図を確認しながら行ってください。
6. 部品が重量物の場合もありますので、事前に重量を確認し、取り扱いに十分注意してください。
7. 必ず元電源を切り、電気配線を取り外して、感電事故を防止してください。
8. 開梱後の廃材、ビニール等は整理し、作業の邪魔にならないように片付けてください。

組立順序

1. サイドプレートの組替え

2. 昇降機の組立

3. 下部Vベルトと安全カバーの取付

4. プラスホース、シュートパイプの取付

5. サーマルリレーの電流値調整方法

6. 操作盤の組替え

7. 電源コネクタの結線

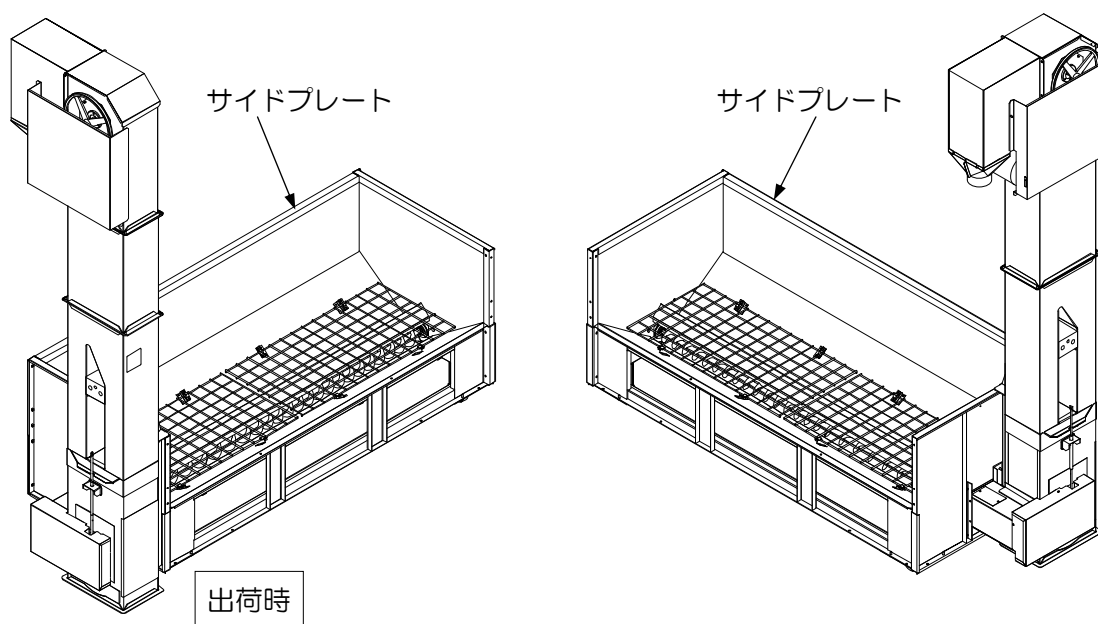
8. 回転方向の確認

9. 組立後のチェック

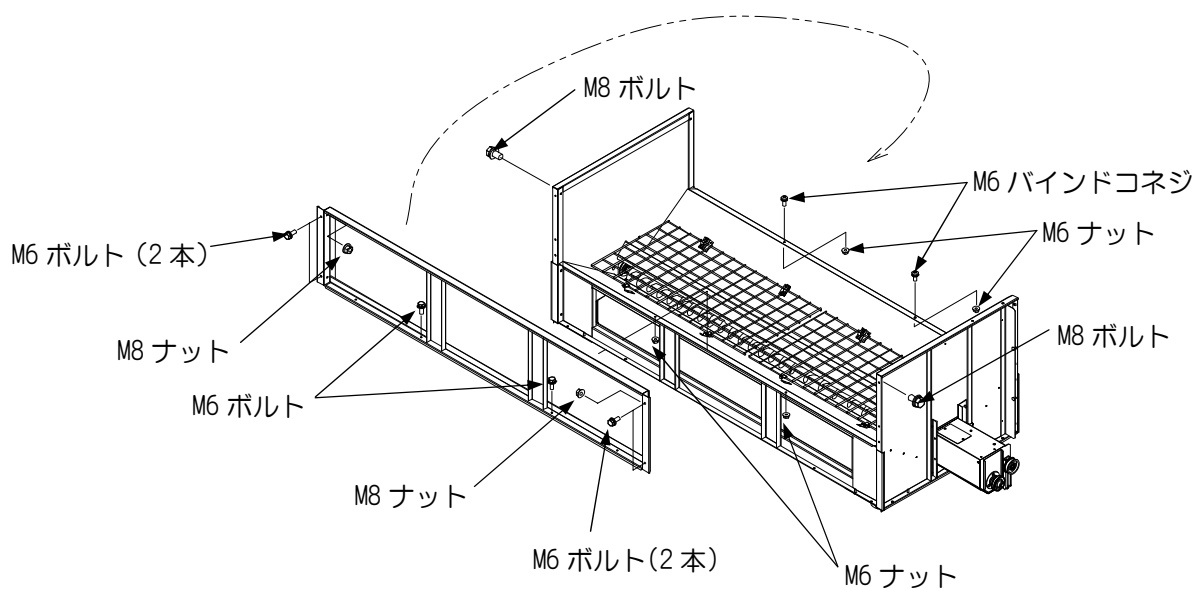
10. 駆動関係図

1. サイドプレートの組替え

- (1) サイドプレートは取付位置を組み替えることができます。出荷時の状態で組み立てると、下左図のようになります。昇降機を立てる前にサイドプレート位置を選択し、組み替えてください。



(2) サイドプレートの組替え



2. 昇降機の組立

- (1) モータをモータベースに取り付けます。
M8×25 ボルト(4 本)、M8 ナット(4 個)で固定します。(図 1) モータベースは上下、左右対称形状ですので、方向性はありません。
- (2) モータプーリをモータに取り付けます。
プーリはモータ軸段付部から 11mm の位置に取り付けてください。また、50Hz 地区は大径が外側、60Hz 地区は小径が外側となるように取り付けてください。(図 2)
- (3) モータを昇降機に取り付けます。
M8 ナット(4 個)で固定します。(図 3)
- (4) モータ端子台カバーを外してゴムブッシュを取り付け、中継コードを取り付けます。(図 4)
- (5) 上部アウトレットを昇降機に取り付けます。
M8×20 ボルト(4 本)、M8 ナット(4 個)で固定します。(図 3)
- (6) 糸詰まりセンサコードと中継コードを接続します。(図 5)
- (7) テンションを昇降機に取り付けます。M6 ナット(4 個)で固定します。50Hz 地区は、ボルトが長穴の上側、60Hz 地区はボルトが長穴の下側になるように固定します。(図 6)

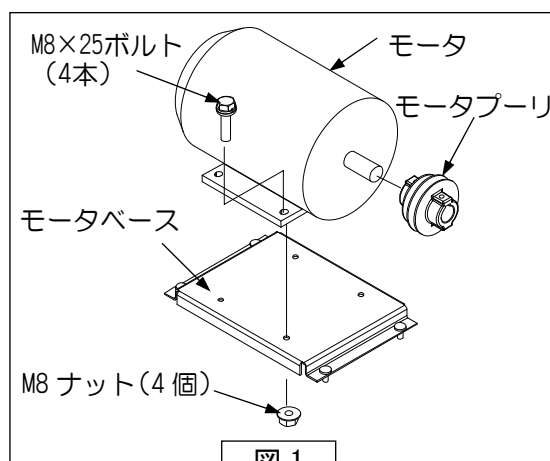


図 1

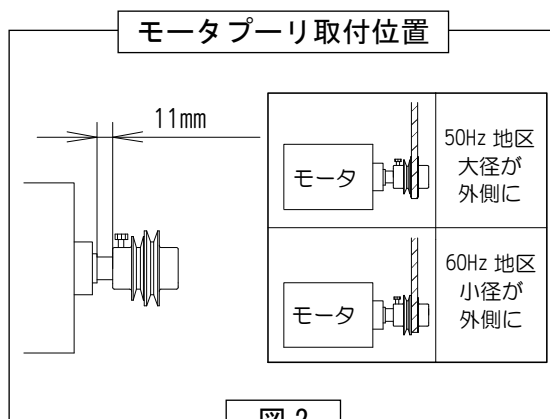


図 2

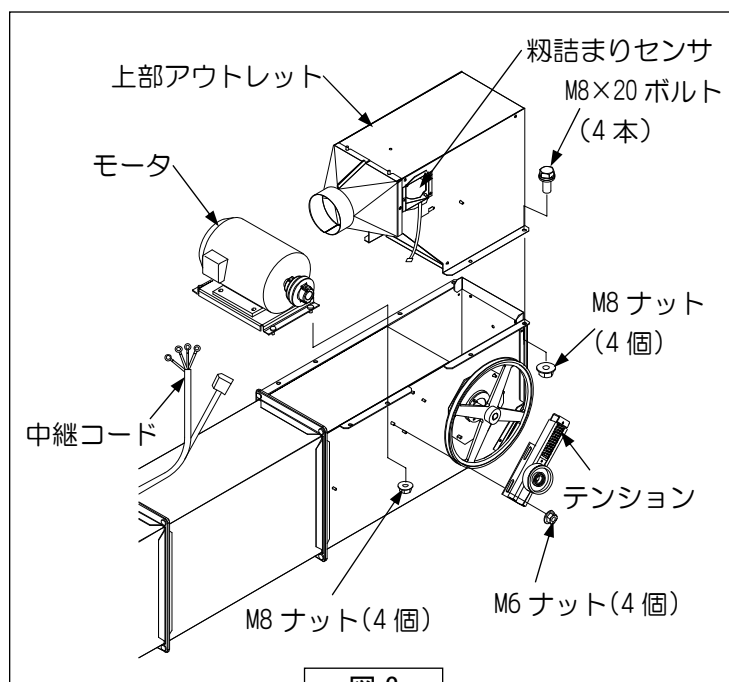


図 3

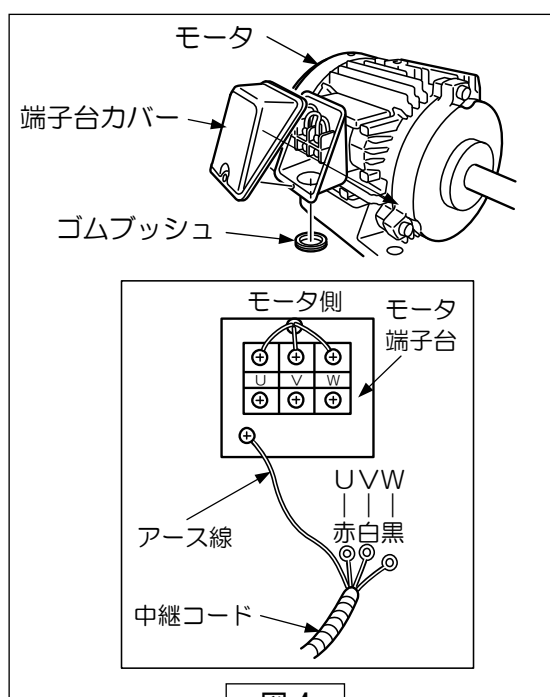


図 4

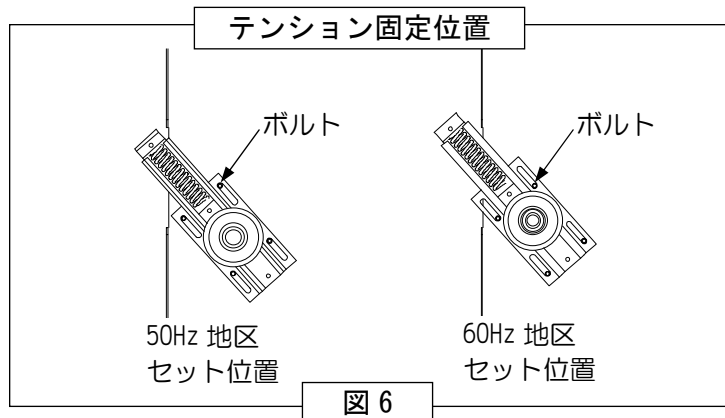


図 6

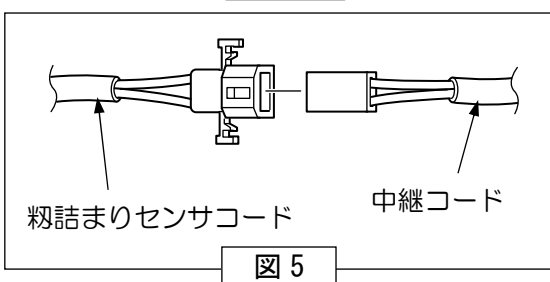
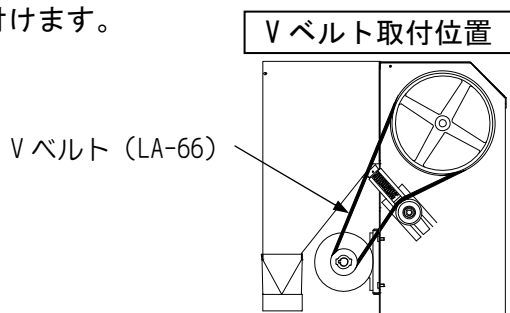


図 5

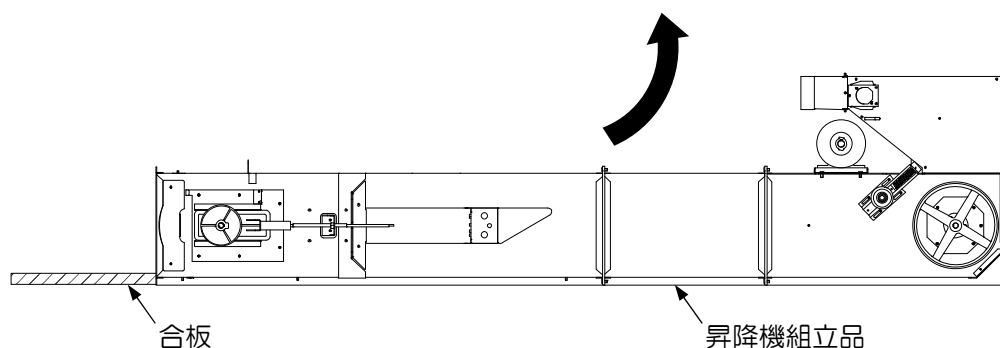
- (8) V ベルト (LA-66) を取り付けます。



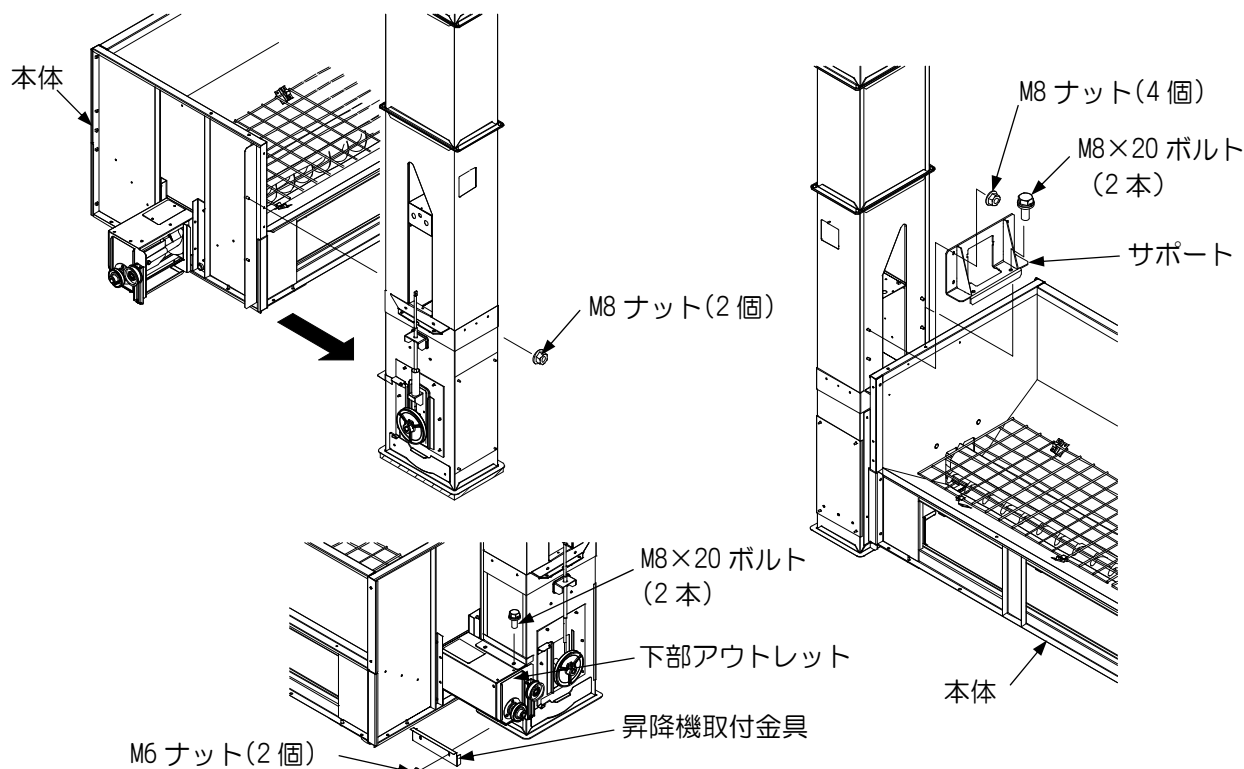
- (9) 昇降機を立てます。
合板の上に昇降機が載るように付属の合板を置いて起こしてください。昇降機を立てた後、本体を動かして合わせますので、本体を昇降機の近くまで移動してください。

⚠ 注意

- 昇降機と本体を固定する際は、なるべく床が水平な場所で組立してください。

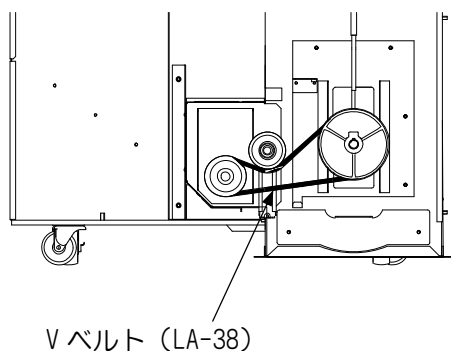


- (10) 昇降機が倒れないように支えておき、本体を移動して昇降機と合わせ M8 ナット (2 個) で固定します。次に昇降機と本体をサポートで固定します。M8 ナット (4 個)、M8×20 ボルト (2 本) で固定します。さらに下部アウトレット上部と昇降機を M8×20 ボルト (2 本) で固定し、昇降機取付金具を M6 ナット (2 個) で固定します。
すべてを確実に締め付けたら、ホッパを移動し合板を抜いてください。

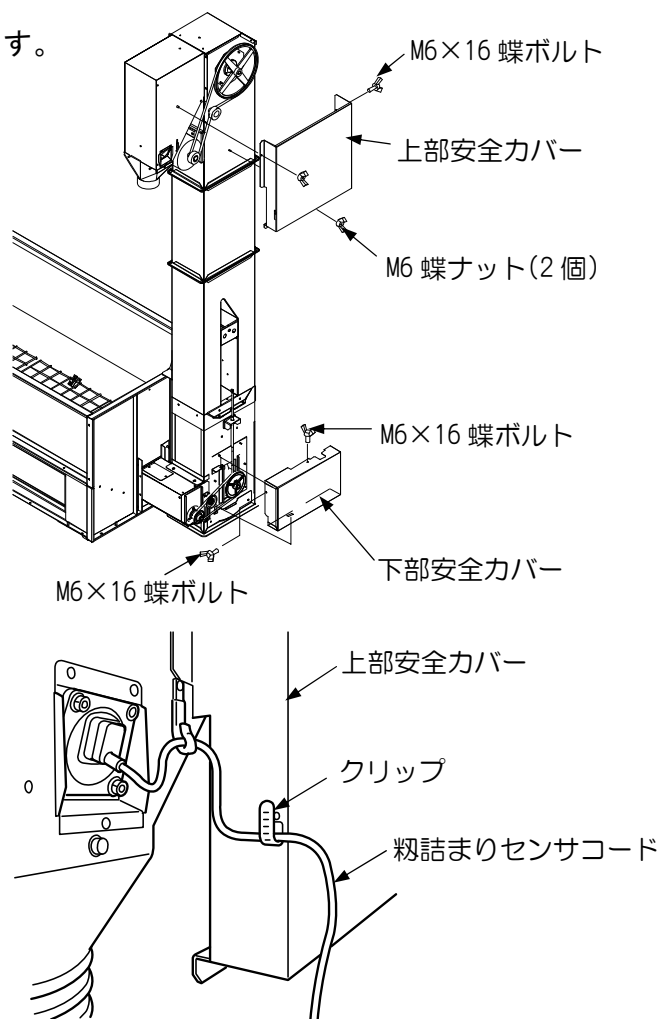


3. 下部Vベルトと安全カバーの取付

- (1) 昇降機下部にVベルト (LA-38) を取り付けます。



- (2) 下部安全カバーを M6×16 蝶ボルト (2 本) で取り付けます。
(3) 上部安全カバーを M6×16 蝶ボルト (1 本)、M6 蝶ナット (2 個) で取り付けます。
(4) 糸詰まりセンサコードを上部安全カバー横のクリップに固定します。



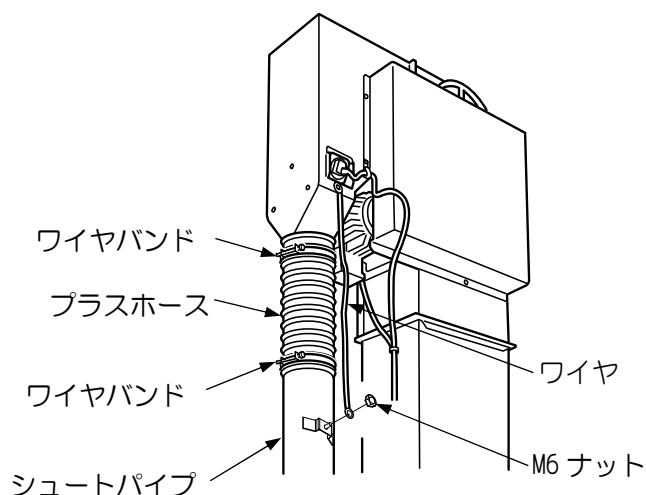
4. プラスホース、シュートパイプの取付

- (1) 上部アウトレットにプラスホース、シュートパイプを取り付け、ワイヤバンドで固定します。
(2) 脱落防止用のワイヤを取り付けます。



危険

● ワイヤバンドは確実に締め込んでください。運転中に外れると大変危険です。

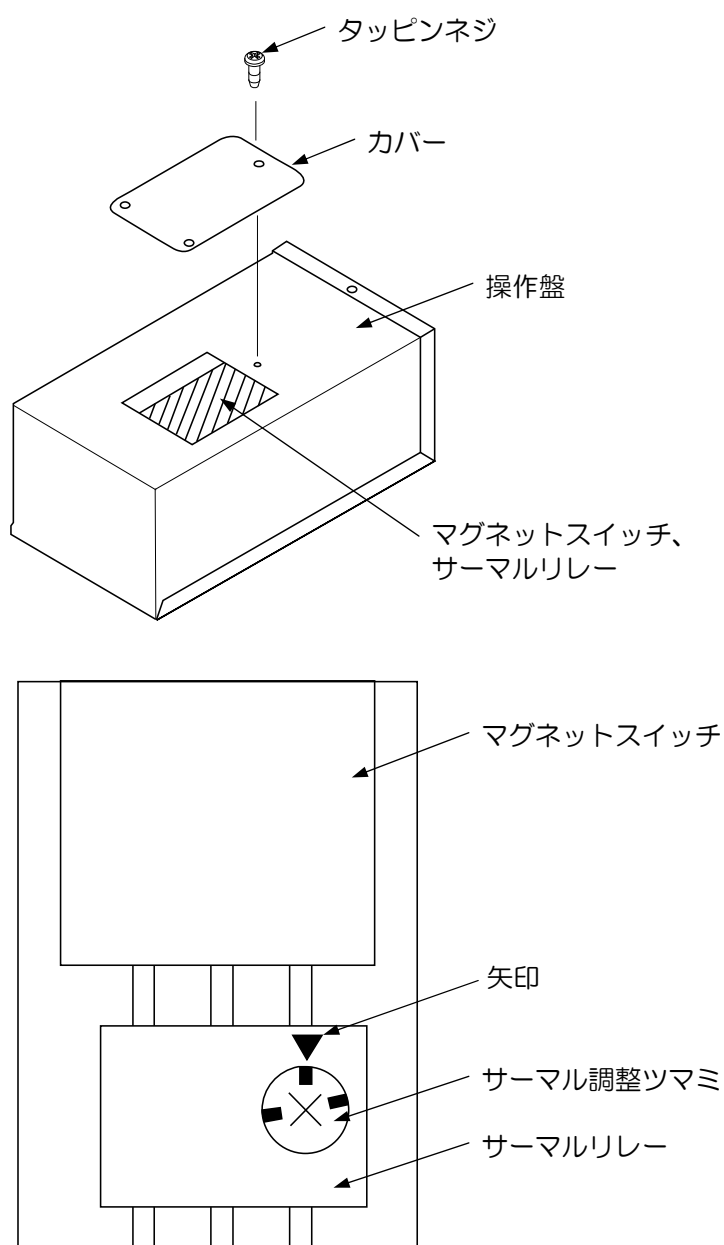


5. サーマルリレーの電流値調整方法

取扱注意

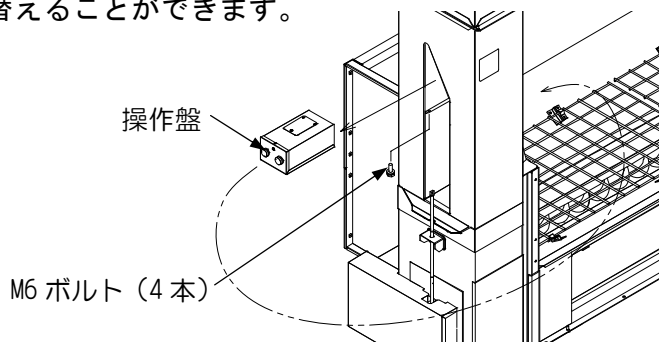
- 設定電流値を守らないと、モータの焼損が発生することがあります。
- 60Hz 地域で使用するときだけ電流値調整を行ってください。
出荷時は、50Hz 地域用に調整してあります。

- (1) カバーをとめているタッピンネジを緩めて、カバーを取り外します。
- (2) ⊕ドライバでサーマル調整ツマミを回し、矢印の所に設定電流値を合わせます。
- (3) 設定電流値
50Hz 地域 … 6.9A
60Hz 地域 … 5.8A
- (4) カバーを取り付け、タッピンネジを締めます。



6. 操作盤の組替え

操作盤は出荷時、昇降機前面側になるように組み立ててありますが、操作面がホッパ側になるように組み替えることができます。



7. 電源コネクタの結線

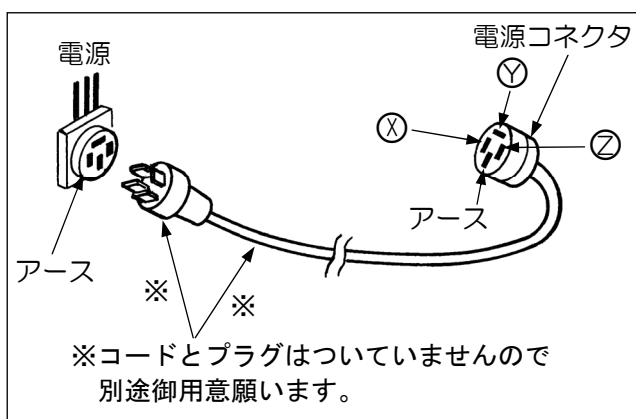
危険

- コード類は旧電気用品取締法による甲種電気用品の型式認定マーク (▽) または電気用品安全法による適合マーク 〈PS〉 E のある製品を使用してください。
- 配線は電気工事会社に相談の上、内線規定に準拠して実施してください。
- 電源プラグおよびコネクタのアース端子にはアース以外の電源を絶対接続しないでください。
- 電源を入れたままでの配線は絶対にしないでください。

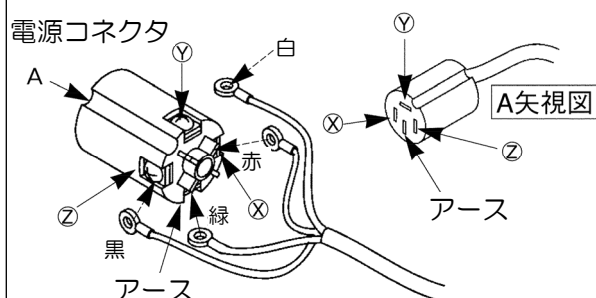
- (1) ブレーカと電源コードの準備
ブレーカと電源コードを準備してください。

ブレーカの容量	電源コード
10 A 以上	2mm ² 以上で10m以内

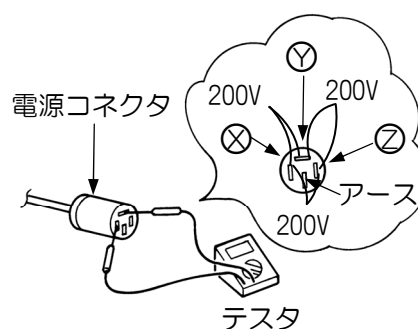
- (2) 電源コネクタの結線
電源コネクタのアース端子には、必ずアース線を取り付けてください。



電源コネクタの X 端子、Y 端子、Z 端子、アースに接続します。

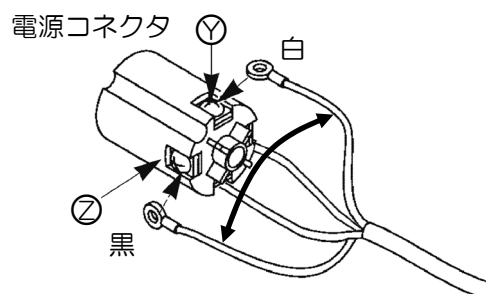
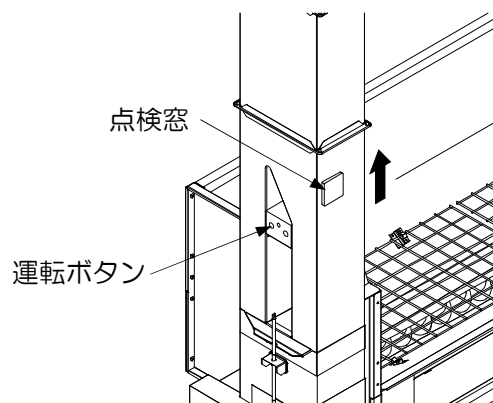


- (3) 電源の確認
電源コネクタの電源を確認し、操作盤に接続します。



8. 回転方向の確認

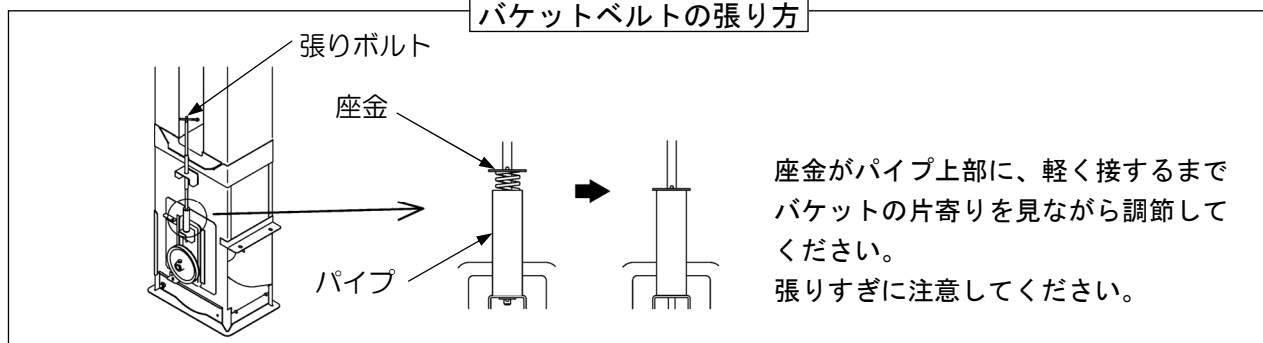
運転ボタンを押し、点検窓から見て、バケットが上方向に上がっていれば正しい回転方向です。
逆回転の場合は、元電源コネクタからプラグを抜いて、Z（黒）とY（白）を入れ替えてください。



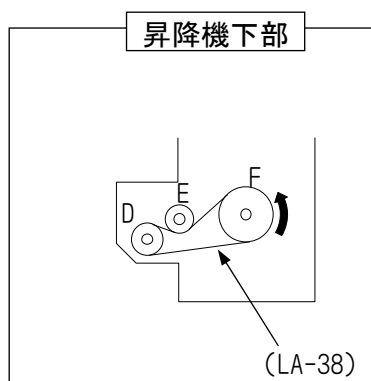
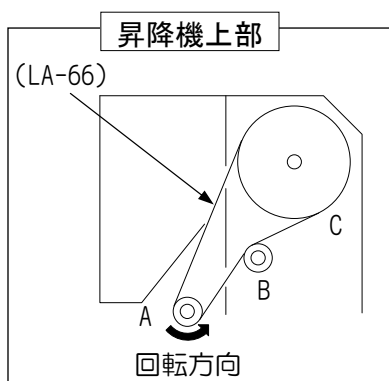
9. 組立後のチェック

要 点	チェック項目	確認
ボルト・ナットの締付 の締付	● ボルト・ナットの締め付けを確認しましたか	
	● 駆動部のボルト・ナットは確実に締め付けましたか	
	● プラスホースのワイヤバンドは確実に締め付けましたか	
ベルトの取付	● 電源周波数による、Vベルトの掛ける位置は適正ですか	
電気配線	● モータの回転方向は確認しましたか	
	● モータの回転はスムーズですか (3線のうち1本が外れるとモータが焼損する場合があります)	
安全カバー	● カバーの取り付けは完全ですか	
バケットベルト	● バケットベルトの片寄りはありませんか	
	● バケットベルトの張りは適正ですか	

バケットベルトの張り方



10. 駆動関係図



プーリの径 (mm)		
A	φ 73 (50Hz)	φ 61 (60Hz)
B	φ 70	
C	φ 325	
D	φ 106	
E	φ 70	
F	φ 152	

保証とアフターサービス

取り扱い・修理などのご相談は、お買い上げの販売店またはＪＡまでお申し付けください。

■保証書（別添付）

- 保証書は必ず、「お買い上げ日、販売店名・ＪＡ」などの記入をお確かめの上、販売店またはＪＡからお受け取りください。
- 内容をよく確かめたあと、大切に保管してください。

保証期間は、お買い上げ日から１年間です。

■補修用部品の供給年限

- この製品の補修用部品の供給年限（期間）は、製造打ち切り後12年とします。
ただし、供給年限内にあっても、特殊部品につきましては、納期などについてご相談させていただく場合があります。
- 補修用部品の供給は、原則的には上記の供給年限で終了しますが、供給年限経過後であっても、部品供給の要請があった場合には、納期および価格についてご相談させていただきます。

■修理を依頼されるときには

- 「困ったときの対処のしかた」（10～11ページ）に従っても直らない場合は、お買い上げの販売店またはＪＡにご連絡ください。

〔保証期間中は〕

- 修理に際しては、保証書をご提示ください。
- 保証書の規定に従って修理させていただきます。

〔保証期間が過ぎているときは〕

- 修理すれば使用できる場合は、ご希望により修理させていただきます。

〔修理料金は〕

- 修理料金＋部品代で構成しています。

緊急時の連絡先

機械が異常な作動をし、原因が不明で適切な処置が行えない場合、または運転操作方法等に不明な点がある場合は、下記連絡先へご連絡ください。

〔１〕販売店・ＪＡ（購入時にお客様にてご記入ください）

店名：
緊急時の連絡先：
担当者：

〔２〕最寄りの営業所

●販売店・ＪＡに連絡がつかない場合は、下記最寄りの営業所へご連絡ください。

営業所／所在地	TEL（代表）	FAX	〒
北海道営業所／札幌市白石区菊水上町 3 条 2 丁目 52-254	011 (812) 3666	011 (820) 2007	003-0813
北上営業所／岩手県北上市川岸 1 丁目 16-1（東北佐竹製作所内）	0197 (64) 0111	0197 (61) 0001	024-0032
秋田営業所／秋田市仁井田字中谷地 121-2	018 (839) 0891	018 (889) 6001	010-1423
仙台営業所／宮城県仙台市若林区六丁の目南町 2-20	022 (287) 2733	022 (390) 1017	984-0013
小山営業所／栃木県小山市駅南町 4 丁目 31	0285 (27) 5060	0285 (31) 1002	323-0822
柏営業所／千葉県柏市大室 1153	04 (7132) 1181	04 (7140) 8018	277-0813
新潟営業所／新潟市中央区長潟 3 丁目 8-16	025 (287) 0177	025 (257) 1103	950-0932
名古屋営業所／愛知県一宮市赤見 3 丁目 10-6	0586 (73) 2177	0586 (26) 1040	491-0023
北陸営業所／石川県白山市源兵島町 793-1	076 (277) 2085	076 (277) 8010	924-0052
大阪営業所／大阪府豊中市稲津町 2 丁目 5-1	06 (6867) 6015	06 (6867) 6073	561-0854
広島営業所／広島県東広島市西条西本町 2-30	082 (420) 8575	082 (420) 0010	739-8602
松山営業所／愛媛県伊予市市場 485-1	089 (982) 6990	089 (997) 3231	799-3122
福岡営業所／福岡県太宰府市国分 1 丁目 7-1	092 (921) 6111	092 (920) 1030	818-0132
熊本営業所／熊本市東区西原 3 丁目 3-29	096 (382) 2727	096 (386) 2007	861-8029

〔３〕製造元 株式会社 **サマケ**

広島本社／広島県東広島市西条西本町 2-30 〒739-8602

●最寄りの営業所に連絡がつかない場合は、下記連絡先へご連絡ください。

■お客様相談窓口	〔営業企画・サービス課〕	TEL：082（420）8543	FAX：082（420）0005
■本社営業窓口	〔調製機事業本部〕	TEL：082（420）8541	FAX：082（420）0005
■大代表		TEL：082（420）0001	

株式会社 **サタケ**

サタケのホームページ
<http://www.satake-japan.co.jp/>

□広島本社／〒739-8602 広島県東広島市西条西本町 2-30 TEL 082 (420) 0001 (大代表)
□東京本社／〒101-0021 東京都千代田区外神田 4-7-2 TEL 03 (3253) 3111 (代表)
□営業拠点／北海道、北上、秋田、仙台、小山、東京、柏、新潟、名古屋、北陸、大阪、
広島、松山、九州、福岡、熊本

□サタケグループ／

株式会社サタケ、株式会社東北佐竹製作所、佐竹鉄工株式会社、佐竹電機株式会社、
SATAKE USA INC.、SATAKE (CANADA) INC.、SATAKE EUROPE LTD.、
SATAKE AMERICA LATINA LTDA.、SATAKE INDIA ENGINEERING PVT.LTD.、
SATAKE (THAILAND) CO., LTD.、SATAKE INTERNATIONAL BANGKOK CO.,LTD.、
佐竹機械(蘇州)有限公司、佐竹軟件技術(蘇州)有限公司、SATAKE AUSTRALIA PTY. LTD.

Copyright (C) 2014 Satake Corporation. All rights reserved.

I1WHC-X1509D-D